920MHz通信サンプルソフトウェア

SimpleMAC922/92A・取り扱い説明書

対象バージョン Ver1.1.9 まで



Ver 1.3

目次

- 1. はじめに
- 2. SimpleMACstdの概要
- 3. SimpleMACstd922/92Aの特長
- 4. SimpleMACstd922/92Aの基本動作
- 5. 変調方式の選択(SimpleMAC92A)
- 6. コンフィグレーション項目一覧(LoRa)
 - 6.1 LoRaモード基本メニュー 【SimpleMAC922/SimpleMAC92A】
 - 6.2 LoRaモード :コンフィグレーション 【SimpleMAC922/SimpleMAC92A】
 - 6.3 FSKモード基本メニュー 【SimpleMAC92A】
 - 6.4 FSKモード :コンフィグレーション 【SimpleMAC92A】
- 7.コンフィグレーション項目・詳細
 - 7.1 使用CH番号の設定コマンド ('a'コマンド)
 - 7.2 ネットワークアドレス、PAN(Parsonal Area Network)アドレスの設定コマンド ('b' 'c' 'e' コマンド)
 - 7.3 ユニットモード設定コマンド ('e' コマンド)
 - 7.4 ルーティングモード設定コマンド ('f' コマンド)
 - 7.5 無線詳細設定コマンド ('g' コマンド) 【LoRaモード】
 - 7.6 無線詳細設定コマンド ('g' コマンド) 【FSKモード】 【SimpleMAC92A】
 - 7.7 ACK設定コマンド ('h' マンド)
 - 7.8 送信モード設定コマンド ('i' コマンド)
 - 7.9 タイマースリープモード設定コマンド ('j' コマンド)
 - 7.10 受信パケット表示モード設定コマンド ('1' コマンド)
 - 7.11 キャリアセンス設定コマンド ('m' コマンド)
 - 7.12 AES設定コマンド ('n' コマンド)
 - 7.13 E2ROM設定コマンド ('y' 'x' 'z' コマンド)
- 8.フレームフォーマット(全モード共通)
- 9.UARTフォーマット(フレームモード)
 - 9.1 UART入力フォーマット
 - 9.2 UART出力フォーマット
- 10.サンプルプログラムの設定例
 - 10.1 コンフィグレーション設定例 ~ 単純なシリアルデータの送受信
 - 10.2 コンフィグレーション設定例 ~ 単純なシリアルデータの 1:Nによる構築
 - 10.3 コンフィグレーション設定例 ~ 1:Nによる子機指定通信
 - 10.4 コンフィグレーション設定例 ~ 経路指定通信を含む 1:Nによる子機指定通信
 - 10.5 コンフィグレーション設定例 ~ AutoRoutingによる送信設定

1.はじめに

本書では、RM-922/92Aシリーズの開発キットに標準搭載されているSimpleMAC922/92Aの取扱い説明書です。

RFに関する一部のソースコードはライブラリ化していますが、基本的には全ソースを公開しています。

ソースコードはサンプルとしてご使用頂く事を前提としていますので、公開している部分についての動作は無保証とさせて頂いていますので、その旨ご了承下さい。

※本書は、暫定版とさせて頂いています。

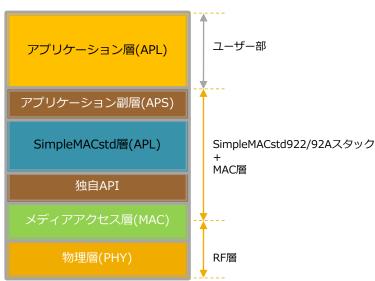
自動ルーティング機能の仕組みや、ご使用の環境に合わせた通信設定例、またソースコードの変更事例など、随時項目を 追加して行く予定です。

2.SimpleMAC922/92Aの概要

SimpleMAC922/92Aは、弊社で独自開発したプロコルスタックです。

SimpleMAC922/92Aは、外部にホストマイコン、又はPCなどから送受信するデータをUARTでI/Fする事を前提にしていますが、RM-922及びRM-92A内蔵のA/Dや、SPIなどからのデータをスタンドアロンで送信する事も可能です。

図1 基本モデル



3.SimpleMACstd922/92Aの特長

SimpleMACstd922/92Aの基本的な動作は、RM-922/92AのUARTデバイスを使用して、外部のホストマイコン、又はパソコンと相互通信する事を前提としています。

ソースコードはRF部の一部以外は原則公開していますので、ソフトウェアを独自に改造して頂く事で、RM-922/92Aシリーズに内蔵される各種コントローラ(A/D、SPI、I2C、UARTCなど)を利用した無線システムの開発も可能です。

RM-922とRM-92Aは、通信距離、通信速度について性能が異なります。

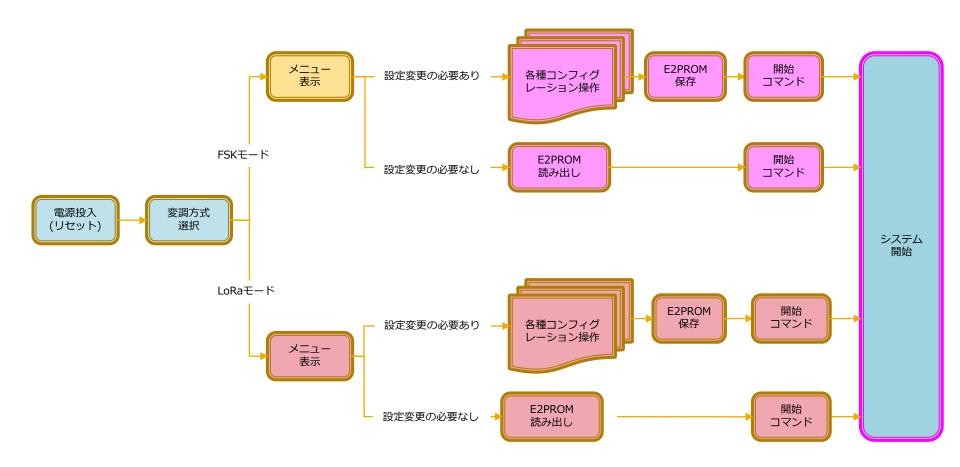
機能	RM-922	RM-92A
LoRa変調モード(長距離通信用)	0	0
LoRa変調SF12モード(超長距離通信用)	0	0
FSK変調モード(高速通信用)		0
GFSK変調モード(将来実装)		0
AES暗号化機能	0	0
自動ルーティング機能	0	0
スリープ機能	0	0

LoRa変調モードは、通信速度が遅いですが、長距離通信に向いています。

FSK変調モードは、通信速度が最大300Kbpsまで設定が可能ですが、通信距離が短くリアルタイム性が必要な高速通信に適しています。 高速RM-92Aのみで使用可能です。

4.SimpleMACstd922/92Aの基本動作

SimpleMACstd922/92Aは、電源投入後UARTにより対話形式で、コンフィグレーション設定を行います。 最後に、設定情報を内蔵E2PROMに保存し、スタートコマンドを受け付ける事で、システムスタートします。



5.変調方式の選択(SimpleMAC92A)

【 SimpleMAC92Aのみの機能です 】

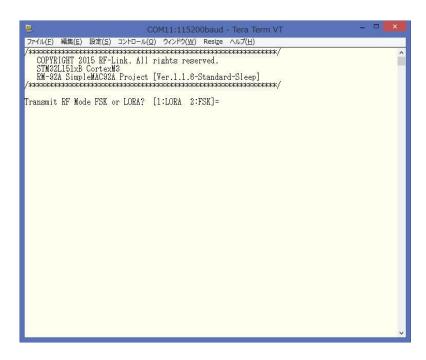
リセット後、最初に変調方式を選択します。

FSKモード 無線の通信速度を1.2Kbps~300Kbpsの範囲で設定を行う事が出来ます。

リアルタイム性を生かした高速無線通信に適していますが、通信距離がLoraモードに比べて短くなります

Loraモード 無線の通信速度をSF6~SF12モードとBWモードとの組み合わせにより、240bps~37.5Kbpsの範囲で設定を行う事が 出来ます。

長距離通信に適していますが、通信速度が遅くなります。



6.コンフィグレーション項目一覧(LoRa)

6.1 LoRaモード基本メニュー 【SimpleMAC922/SimpleMAC92A】

LoRaモードを選択すると、下記の基本メニューが表示されます。 a~z のコマンドにより各設定パラメータを編集を行う事が出来ます。

何も編集しない場合は、デフォルト値で起動します。 [?]を入力する事で、設定状況を確認する事が出来ます。

図1 LoRaモード基本メニュー

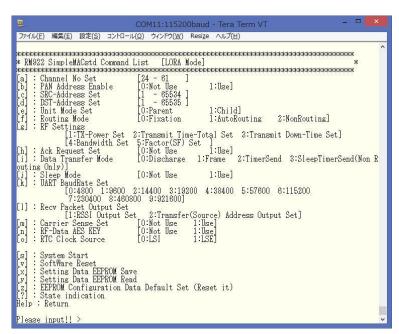
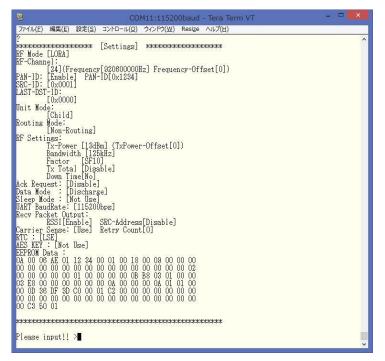


図2 LoRaモードのデフォルト値



6.コンフィグレーション項目一覧(LoRa)

6.2 LoRaモード :コンフィグレーション "a" ~ "s" まで 【SimpleMAC922/SimpleMAC92A】

*14FE	設定項目	出荷時設定	設定範囲
"a"	使用する無線CH番号の設定	24	24(920.6MHz)~61(928.0MHz)
"b"	PANネットワークアドレスの設定	0x1234	1~65534
"c"	自局アドレスの設定	0x0001	0~65534
"d"	宛先アドレスの設定	0x0000	0~65534
"e"	ユニットモードの設定	Child	Child / Parent
"f"	ルーティング通信の設定	Non-Routing	Fixation / Auto-Routing / Non-Routing
"g"	RFの詳細設定	TX-Power 13dBm BW 125KHz SF SF10	7章参照
"h"	ACKモードの設定	Disable	Disable / Enable
"i"	データ送信モードの設定	Discharge	Dischage / Frame / Time Send / Sleep Timer Send
"j"	スリープモードの設定	Not Use	Not Use / Use
"k"	UART通信の設定	115200bps	4800/9600/14400/19200/38400/57600/115200/230400/460800/921600
" "	受信パケット出力設定	RSSI enable SRC-Address Disable	7章参照
"m"	キャリアセンス設定	Use	7章参照
"n"	AES暗号化機能の設定	Not Use	7章参照
"o"	内部RTCクロックソースの設定	LSE	LSI / LSE
"s"	システムのスタート	-	

6.コンフィグレーション項目一覧(LoRa)

6.2 LoRaモード :コンフィグレーション "v" ~ "?" まで 【SimpleMAC922/SimpleMAC92A】

ግ ፈላኦሮ	設定項目	出荷時設定	設定範囲
"v"	ソフトウェアリセットの実行	-	-
"x"	設定情報の内部E2PROMへの保存	-	-
"y"	内部E2PROMから設定情報の読出し	-	-
"z"	内部E2PROMの初期化	-	-
"?"	現在状態の表示	-	-

6.コンフィグレーション項目一覧(FSK)

6.3 FSKモード基本メニュー 【SimpleMAC92A】

FSKモードを選択すると、下記の基本メニューが表示されます。 a~z のコマンドにより各設定パラメータを編集を行う事が出来ます。

何も編集しない場合は、デフォルト値で起動します。 [?]を入力する事で、設定状況を確認する事が出来ます。

図1 FSKモード基本メニュー

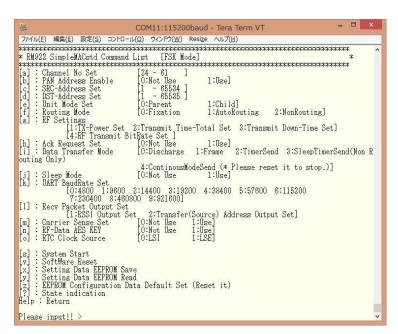
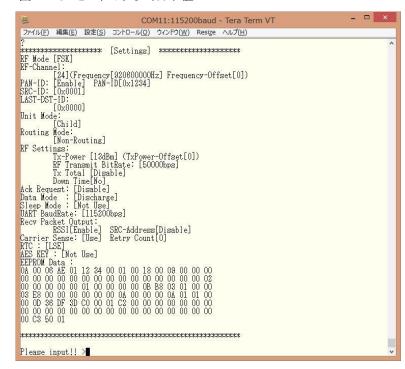


図2 FSKモードのデフォルト値



6.コンフィグレーション項目一覧(FSK)

6.4 FSKモード :コンフィグレーション "a" ~ "s" まで【SimpleMAC92A】

コマント゛	設定項目	出荷時設定	設定範囲
"a"	使用する無線CH番号の設定	24	24(920.6MHz)~61(928.0MHz)
"b"	PANネットワークアドレスの設定	0x1234	1~65534
"c"	自局アドレスの設定	0x0001	0~65534
"d"	宛先アドレスの設定	0x0000	0~65534
"e"	ユニットモードの設定	Child	Child / Parent
"f"	ルーティング通信の設定	Non-Routing	Fixation / Auto-Routing / Non-Routing
"g"	RFの詳細設定	TX-Power 13dBm TR Bps 5000Kbps	7章参照
"h"	ACKモードの設定	Disable	Disable / Enable
"i"	データ送信モードの設定	Discharge	Dischage / Frame / Time Send / Sleep Timer Send
"j"	スリープモードの設定	Not Use	Not Use / Use
"k"	UART通信の設定	115200bps	4800/9600/14400/19200/38400/57600/115200/230400/460800/921600
" "	受信パケット出力設定	RSSI enable SRC-Address Disable	7章参照
"m"	キャリアセンス設定	Use	7章参照
"n"	AES暗号化機能の設定	Not Use	7章参照
"o"	内部RTCクロックソースの設定	LSE	LSI / LSE
"s"	システムのスタート	-	

6.コンフィグレーション項目一覧(FSK)

6.4 LoRaモード :コンフィグレーション "v" ~ "?" まで【SimpleMAC92A】

``4\se	設定項目	出荷時設定	設定範囲
"v"	ソフトウェアリセットの実行	-	-
"x"	設定情報の内部E2PROMへの保存	-	-
"y"	内部E2PROMから設定情報の読出し	-	-
"z"	内部E2PROMの初期化	-	-
"?"	現在状態の表示	-	-

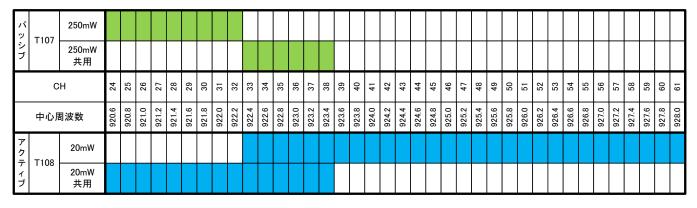
7.1 使用CH番号の設定コマンド ('a'コマンド)

日本国内の920MHz帯のチャンネル割り当ては以下の表の通りです。

RM-922/92Aは、20mW以下のアクティブ無線に属し、CH24~CH61の範囲で使用する事が出来ます。

CH24~CH38は、250mWパッシブ無線と重なっていますので、電波干渉を避ける場合はCH39以降をご使用下さい。

下図の中で、アクティブ(T108)で示される部分が、設定可能な周波数です。



コマンド	説明	デフォルト値
"a" コマンド	"a" コマンドは、中心周波数の設定を行います。 24~61 を指定します。	24

7.2 ネットワークアドレス、PAN(Parsonal Area Network)アドレスの設定コマンド ('b' 'c' 'e' コマンド)

コマンド	説明	デフォルト値
"b" コマンド	自ノードが参加するPANアドレスを設定します。 PANアドレスとは、同一の無線CH内を更に、分けて管理したい時に使用します。 PANアドレスは、0x0001~0xFFFE の範囲で使用する事が出来ます。	0x1234
"c" コマンド	自ノードのネットワークアドレスを設定します。 1つのPANアドレス内に、0x0000~0xFFFE の範囲で設定が可能です。	0x0001
"d" コマンド	送信先ノードのアドレスを設定します。 (一般的には親機のアドレスを設定しますが、他の子機アドレスを指定も可能です。) 1つのPANアドレス内に、0x0000~0xFFFE の範囲で設定が可能です。	0x00FF

7.3 ユニットモード設定コマンド ('e' コマンド)

コマンド	説明	デフォルト値
"e" コマンド	モジュールの親子設定を行います。 通常1台のユニットを親機(Parent)として設定し、他の複数ユニットを子機(Child)として 設定します。 0: Parent 1: Child	Child

7.4 ルーティングモード設定コマンド ('f' コマンド)

コマンド	説明	デフォルト値
"f" コマンド	親子間の接続モードの設定を行います。 Fixaction : 通信経路を指定して通信するモード AutoRouting : 自動的に通信経路を接続するモード NonRouting : スター型ネットワークで接続するモードです O: Fixaction O : 中継なし : 中継数(ホップ数)の指定 最大3ノードまで (例)3を指定した場合 First-Root-Address: 2 Second-Root-Address: 3 Third-Root-Address: 4 上記の場合、 自ノード→0x002→0x003→0x004→宛先ノードで送信されます。 1: AutoRouting 2: NonRouting	NonRouting

7.5 無線詳細設定コマンド ('g' コマンド) 【LoRaモード】

コマンド		説明		デフォルト値
	g コマンドでは、送信パワー、総 います。	和時間処理の使用/	不使用、送信インターバル時間の設定を行	
	1:TX-Power Set	0:20mW(+13d 1:4mW(+6dBn 2:1mW(+0dBn	n) ·	
	2:Transmit Time-Total Set	0:Not Use 1:Use	総和管理を無効にします(試験時) 総和管理を有効にします(通常)	
"g" コマンド	3:Transmit Down-Time Set	0:Not use 1:2ms 2:50ms 3:Transmit*10	休止時間管理を無効にします(試験時) 強制的に2msに設定します(試験時) 強制的に50msに設定します(試験時) 送信時間の10倍の休止時間を設定(通常)	
y JYZI	4:BandWidth Set	0:125KHz 1:250KHz 2:500KHz	帯域幅を125KHzにします 帯域幅を250KHzにします 帯域幅を500KHzにします	-
	5:Factor Set	0:SF6 1:SF7 2:SF8 3:SF9 4:SF10 5:SF11 6:SF12	SF6モード SF7モード SF8モード SF9モード SF10モード SF11モード SF12モード	
	<注息> Transmit Time-total Set Transmit Down-Time Set		"1" を指定して下さい。 "3" を指定して下さい。	

7.6 無線詳細設定コマンド ('g' コマンド) 【FSKモード】 【SimpleMAC92A】

g コマンドでは、送信パワー、総和時間処理の使用/不使用、送信インターバル時間の設定を行います。 1:TX-Power Set 0:20mW(+13dBm) 1:4mW(+6dBm) 2:1mW(+0dBm) 2:Transmit Time-Total Set 0:Not Use 総和管理を無効にします(試験時) 1:Use 総和管理を有効にします(通常) "g" コマンド 3:Transmit Down-Time Set 0:Not use 休止時間管理を無効にします(試験時) 1:2ms 強制的に2msに設定します(試験時) 2:50ms 強制的に2msに設定します(試験時) 2:50ms 強制的に2msに設定します(試験時) 3:Transmit*10 送信時間の10倍の休止時間を設定(通常) 4:RF Transmit BitRate Set 1200bps~300000bps を指定 「注意> Transmit Time-total Set は、通常は必ず "1" を指定して下さい。 Transmit Down-Time Set は、通常は必ず "3" を指定して下さい。	コマンド		説明		デフォルト値
Transmit Down Time Set は、 使用は必ず 3 で出たして C C C V vo		1:TX-Power Set 2:Transmit Time-Total Set 3:Transmit Down-Time Set 4:RF Transmit BitRate Set	和時間処理の使用/ 0:20mW(+13d 1:4mW(+6dBn 2:1mW(+0dBn 0:Not Use 1:Use 0:Not use 1:2ms 2:50ms 3:Transmit*10 1200bps~300d	Bm) n) n) 総和管理を無効にします(試験時) 総和管理を有効にします(通常) 休止時間管理を無効にします(試験時) 強制的に2msに設定します(試験時) 強制的に50msに設定します(試験時) 送信時間の10倍の休止時間を設定(通常) 000bps を指定	<u>-</u>

7.7 ACK設定コマンド ('h' コマンド)

コマンド	説明	デフォルト値
"h" コマンド	h コマンドでは、ACKパケットの使用、不使用を設定します。 使用する場合は、タイムアウト時間の設定とリトライ回数の設定を行う事が出来ます。 0: Not Use ACK機能を使用しません 1: Use ACK機能を使用します。 ACK Time Out Set(sec) [1 to 5] ACKパケットの待ち時間を1~5秒の間で設定します。 ACK Retry Counter 0: Not Retry リトライを行いません 1~5:リトライ回数	Not Use

7.8 送信モード設定コマンド ('i' コマンド)

コマンド		説明	デフォルト値
	i コマンドでは、データの送信モードを設定します		
	0: Discharge	垂れ流し通信モード UARTから入力されたデータをバイナリ値で送信します	
"i" コマンド	1: Frame	所定のフォーマットで入力されたデータをバイナリ値で送信 します	Discharge
	2: TimerSend	内部で保持している自局アドレス、シリアルカウンタを 設定した周期で自動送信します。 ※通信テストを行う場合などに使用します。	
	3: SleepTimerSend	設定した周期でスリープから起床し、データ送信後スリープ を繰り返すモードです	

7.9 タイマースリープモード設定コマンド ('j' コマンド)

コマンド	説明	デフォルト値
"j" コマンド	j コマンドでは、タイマースリープの使用/不使用を設定します 0: Not Use タイマースリープを使用しません 1: Use 1秒~86400(24時間)の範囲で設定します。 設定した周期で起床しますので、ユーザーで追加したプログ ラム等を登録する事で、定周期送信などを行う事が出来ます	Not Use

7.10 受信パケット表示モード設定コマンド (" コマンド)

コマンド	説明	デフォルト値
"I" コマンド	 Iコマンドでは、パケット受信したデータをUART出力する際の表示方法を設定します。 RSSI Output Set RSSI(電波受信強度)の表示/非表示を設定します Transfer Add Output Set 送信元アドレスの表示/非表示を設定します 	RSSI Enable Transfer Add Disable

7.11 キャリアセンス設定コマンド ('m' コマンド)

コマンド		説明	デフォルト値
"m" コマンド	m コマンドでは、キャリアセンス	スに関する設定を行います。 キャリアセンスを無効にします。 ※試験時のモードとしてご使用ください。	
	1: Use	キャリアセンスを有効にします。 0 : キャリアセンスリトライを無効にします 1〜9 :1〜9回の間でリトライ回数を設定します	

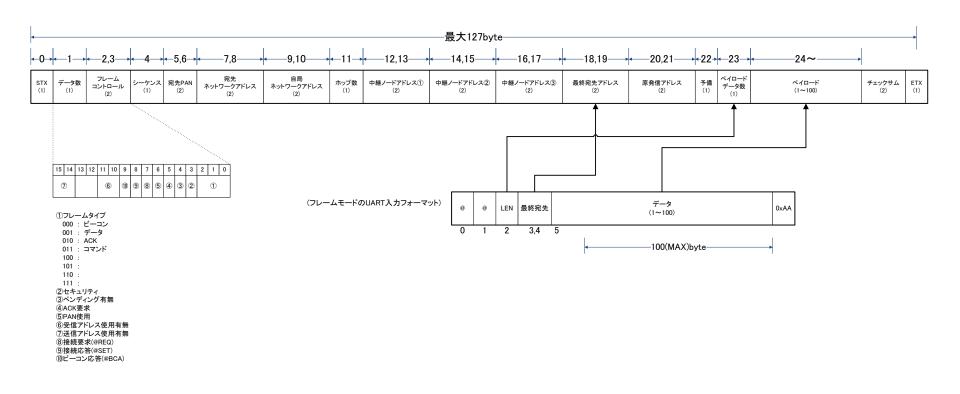
7.12 AES設定コマンド ('n' コマンド)

コマンド		説明	デフォルト値
	n コマンドでは、AES機能の使用		
	0: Not Use	AES機能を使用しません。	
"n" コマンド	1: Use	AES機能を有効にします。	Not Use
		AES Key : 任意の16byteのKeyコードをバイナリ値 で設定します。	

7.13 E2ROM設定コマンド ('y' 'x' 'z' コマンド)

コマンド	説明	デフォルト値
	y、及び x コマンドでは、内蔵E2PROMに対する読出し、保存を行います。	
"y" コマンド "x" コマンド	y: 内蔵E2PROMに保存されている設定内容を読み出します。 出荷時は、デフォルト値が保存されています。	_
"z" コマンド	x: 各種コマンドで設定した内容を内蔵E2PROMに保存します。	
	Z: E2PROMの内容を出荷時の状態に戻します。	

8.フレームフォーマット(全モード共通)



9.UARTフォーマット(フレームモード)

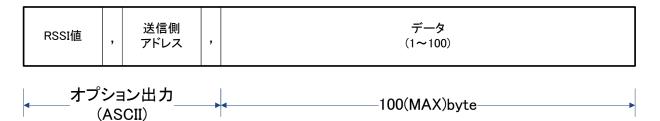
9.1 UART入力フォーマット



No	フィールド項目	説明	備考
01	@@	先頭コード	0x40 0x40
02	LEN	データ数	1~100を指定
03	最終宛先アドレス	最終宛先となるアドレスを指定します	
04	データ	送信するデータをバイナリで設定します	
05	0xAA	最終コード	

9.UARTフォーマット(フレームモード)

9.2 UART出力フォーマット



No	フィールド項目	説明	備考
01	RSSI値	電波受信強度を+13~-137dBmの範囲でASCII表示します	出力オプション有効時
02	ı	カンマ	
03	送信側アドレス	データ送信元のアドレスをASCII表示します	出力オプション有効時
04	ı	かんま	
05	データ	データ部の内容をそのまま出力(Binarry)	

10.1 コンフィグレーション設定例 ~ 単純なシリアルデータの送受信

1:1通信で、PC(又はマイコン)~PC(又はマイコン) 間で単純な通信を行う場合の設定例

2台のPC間で、それぞれのキーボードから入力した値を、リアルタイムに相互通信します。 下記コンフィグレーション値以外はデフォルト設定を使用します。(CH24/Dischargeモード)

◆コンフィグレーション (例)

"c": 自ノードアドレス 0x01 "d": 相手先ノードアドレス 0x09

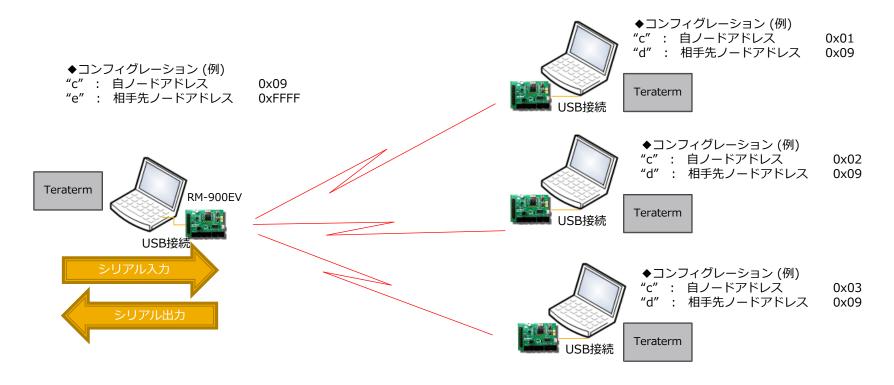
RM-900EV
USB接続
USB接続
USB接続
シリアル入力
シリアル入力
シリアル入力

"c": 自ノードアドレス 0x09 "d": 相手先ノードアドレス 0x01

10.2 コンフィグレーション設定例 ~ 単純なシリアルデータの 1:Nによる構築

1:N通信で、PC(又はマイコン)~PC(又はマイコン) 間で単純な通信を行う場合の設定例

親機 1:子機3 の構成で、それぞれのキーボードから入力した値を、リアルタイムに相互通信します。 親機から子機に対しては、ブロードキャストアドレスで送信します。 下記コンフィグレーション値以外はデフォルト設定を使用します。(CH24/Dischargeモード)

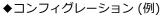


10.3 コンフィグレーション設定例 ~ 1:Nによる子機指定通信

1:N通信で、PC(又はマイコン)~PC(又はマイコン) 間で指定フォーマットによる通信を行う場合の設定例

親機 1:子機3 の構成で、所定フォーマットのデータを相互通信します。 親機から子機に対しては、子機アドレスを指定して送信します。 下記コンフィグレーション値以外はデフォルト設定を使用します。(CH24)

指定フォーマットについては、「8章 UARTフォーマット」を参照下さい



"c": 自ノードアドレス 0x09 "d": 相手先ノードアドレス 0xFFFF "i": 送信モード(フレームモード) 1





◆コンフィグレーション(例)

"c": 自ノードアドレス 0x01 "d": 相手先ノードアドレス 0x09 "i": 送信モード(フレームモード)

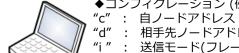
Teraterm



◆コンフィグレーション(例)

"c": 自ノードアドレス 0x02 : 相手先ノードアドレス 0x09 "i": 送信モード(フレームモード) 1

Teraterm



◆コンフィグレーション (例)

0x03 : 相手先ノードアドレス 0x09 "i": 送信モード(フレームモード)

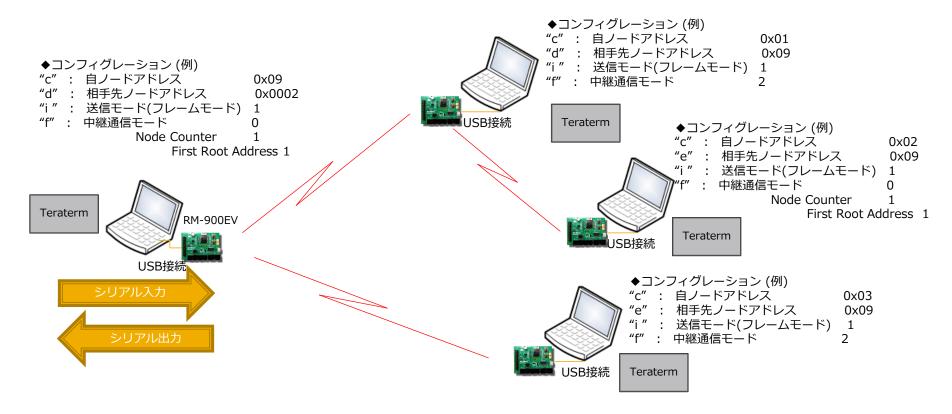
Teraterm

10.4 コンフィグレーション設定例 ~ 経路指定通信を含む 1:Nによる子機指定通信

1:N通信で、PC(又はマイコン)~PC(又はマイコン)間で、経路指定を通信を行う場合の設定例

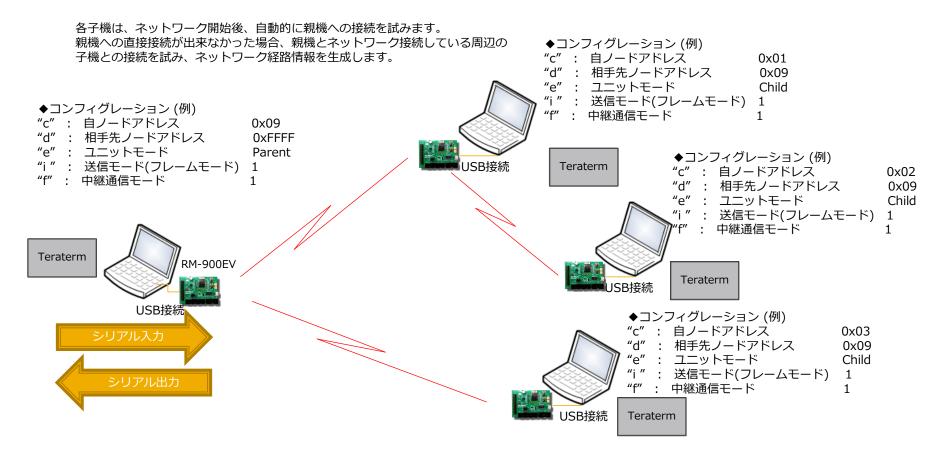
基本構成は、前項と同じです。

"f"コマンドで、Fixactionモードを指定します。8章の指定フォーマットに従い、経由する子機のアドレスを指定してUARTでRM-92A/922に送信します。



10.5 コンフィグレーション設定例 ~ AutoRoutingによる送信設定

自動ルーティング機能によるネットワーク構成を利用する場合の設定例



SimpleMACstd922/92A 取り扱い説明書

◆Release version

Rev 1.2 2015-09-10